

理事長あいさつ

■ 公益法人となって5年目の節目を迎えて

理事長 川野武豊



はじめに、熊本地震（「本震」4月16日）にて、尊い生命が奪われ数多くの住宅を損壊されて、日常生活の崩壊を余儀なくされた被災地の方々に、心よりお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、衷心より哀悼の意をささげます。一日も早い生活再建ができることを願っています。

た結果と見ています。この誌面をお借りして関係各位に感謝いたします。

当センターの「平成28年度定時総会」は5月31日に無事終了し、今6月、正に就業活動の繁忙期に突入して、会員をはじめセンター職員はフル回転の活動をしています。今年も猛暑日の連続が予想されています。無理をせず安全就業に努めていただき、無事故で乗り切っていただくことを願っています。

さて、平成27年度の日本経済は年間を通じて「円安・株高」で推移し、デフレ脱却や所得の改善などが見られて、若干ながら明るさが感じられました。

今年度、当センターは公益法人（定義は「不特定かつ多数の人のため」）となって5年目の節目を迎えています。ここで改めて公益法人であるシルバー人材センターの役割を再確認して、基本理念である「自主・自立」「共働・共助」のもとに当センターが地域社会（精華町・住民・企業）にとって役立ち、必要とされ、「安心と信頼」を寄せていただける存在であることをめざします。そのために会員をはじめセンター役職員のスキルアップを通じて精華町シルバー人材センター全体のレベルアップを図るとともに地域班活動の充実をすすめて業容拡大の原動力としたいと思っています。終わりに、平成28年度の「事業目標」と「特記事項」を記述します。

国をはじめ全国シルバー人材センターが「就業拡大」を最重要課題としている中で、当センターは「事業拡大」・「会員増強」を重点目標として事業展開を図り、契約金額は3年連続で伸張し約1億5300万円、前年比109%となりました。また、4年連続で減少していた会員数は前年の307人から327人へと5年ぶりの増加となり、平成27年度の目標を達成することができました。これは精華町をはじめ民間企業および地域住民のご理解とご協力を基に、会員の皆さんとセンター役職員の「努力」と「誠実」さが認められ

（事業目標）

- 1) 派遣就業の拡大
- 2) 安全就業の徹底
- 3) 就業開拓の推進
- 4) 少子高齢化社会への対応を模索

（特記事項）

「ふるさと案内人の会」NPO法人へ（平成28年7月1日予定）
精華町をはじめ京都府や近隣地域で観光案内等の事業実績を重ね、「実力」・「知名度」、ともに近年急上昇、今年「ふるさと案内人の会」が発足10周年を迎えたのを機に精華町シルバー人材センターからの独立を決意しNPO法人となります。独立後も、引続き皆さまのご愛顧を賜りますようお願いいたします。

平成27年度決算監査報告

平成27年度の決算にかかる監査等を以下のとおり実施いたしました。

平成28年4月19日（火）

収支計算書および財務諸表の確認について
衣目公認会計士事務所 公認会計士 衣目修三

平成28年4月21日（木）

会計および業務監査
監事 廣利勝行
監事 木村光雄

表紙写真のひとつ



水無月（みなづき）のけいはんな記念公園の風景です。精華町でも、昔はあちこちで「茶畑風景」が見られましたが、明治に入り養蚕が盛んになり桑畑に取って代わられたそうです。今でも、山裾の棚田が残る地域に入ると、野生化した茶の木が見られることがあります。時代と共にまわりの風景が変わっていきませんが、けいはんな記念公園内では、南山城地方の原風景を茶畑に見立てたサツキの植栽で再現しています。

文：佐久間隆司